



舞鶴ふるさと発見館

舞鶴市郷土資料館だより

★舞鶴市内の学生は入館無料です★

5月
は
春
の
宴
!

きゆうれき うづき まつのおでら
旧暦、卯月の8日(新暦5月8日)は松尾寺の
ほとけまい だいにちによらい しゃかによらい あ
仏舞が行われます。大日如来・釈迦如来・阿
みだ によらい
弥陀如来の金色の仏面をそれぞれ2人ずつ6人
の舞人がかぶり、雅楽「越天楽」に合わせて
舞うものです。約600年前に始まったと伝え
られています(国の重要無形民俗文化財)。

また、現在でも大浦地区や真倉地区では
てんとうばな
「天道花」が飾られます。天道花はフジ・シ
キビ・ツツジ・シキダラ・フウキンの花を束
ねて高い竹竿に結びつけ、屋敷内に立てる行
事です。さらに菖蒲の節句ともいわれる5月
5日のこどもの日もあり、美しい緑と咲き誇る
花々で5月はまさに春の宴のようです。郷土
資料館ではサロンスペースに鯉のぼりや五月
人形を飾って皆様をお迎えします。



ミュージアム
トーク

5/17(日)
13:30~14:30

新舞鶴市街地図
について

展示室にて実施

★参加費無料

★前日までに郷土資料館(75-8836)へ



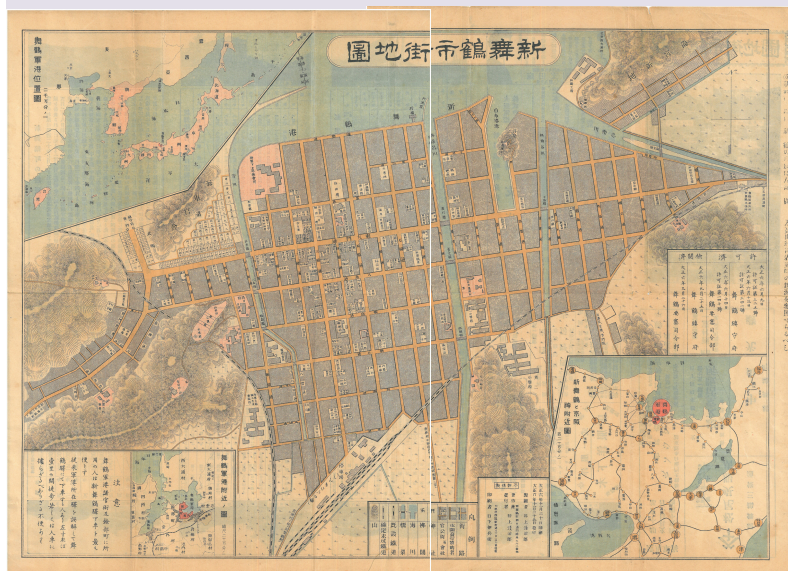
松尾寺の仏舞



天道花

学芸員が選ぶ
今月の一品

しんまいづる しがい ちず
「新舞鶴市街地図」



今月の一品は「新舞鶴市街地図」です。舞鶴市は、細川幽斎が築いた西の市街地と、明治34年の鎮守府開庁により軍港都市として誕生した東の市街地という、異なる歴史を持つ2つの街が合併してできた全国でも珍しい複眼都市です。来たる5月27日には、市制施行83周年を迎えます。

今回展示する地図は、誕生からわずか15年ほどしか経っていない東の市街地(=新舞鶴)を描いたものです。地図からは基盤の目状の街路が整然と並ぶ様子が見て取れ、当時の急速な都市づくりの過程を物語っています。

糸井文庫コーナー 5月のテーマ

糸井文庫は糸井仙之助が集めた丹後関連資料（約2200点）です。中でも丹後の伝説を描いた浮世絵が約200点あります。そこで、当館では毎月テーマを決めて糸井文庫の浮世絵を紹介しています。

春の宴

大江山の鬼退治！
つよ〜いを武者をかわいい幼子に見立てて描く



「おさなあそびおおえやまいり」 けいさいえいせん 漢齋英泉 糸井文庫

今月の糸井文庫コーナーでは、春らんまんの浮世絵、^{けいさいえいせん}漢齋英泉筆「おさなあそびおおえやまいり」をご紹介します。この作品は、ある主題を別のものになぞらえて描く、当時流行した「見立画」^{みたてえ}の一つです。本作では勇猛な「源頼光と四天王の一行」を愛らしい幼子の姿に見立てて描いています。本来であれば鬼退治に向かう勇ましい場面ですが、富士山を背景にお花見を楽しむ様子は実になごやかです。鬼の窟の門番までもが子供として描かれており、まるで微笑ましい「ごっこ遊び」^{おに いわや}のようです。春の陽気に包まれた、遊び心あふれる江戸の「見立て」の世界をぜひお楽しみください。

★西舞鶴駅から徒歩10分★



舞鶴ふるさと発見館（舞鶴市郷土資料館）

開館時間 9:00～17:00（最終入館16:30まで）

今月の休館日

7日（木）・11日（月）・18日（月）・25日（月）

〒624-0853

舞鶴市字南田辺1番地

西総公会館 1F北側

TEL 0773-75-8836 FAX 0773-77-1314

入館料

大人 100円

舞鶴市外の学生
50円

★舞鶴市内に居住または通学する学生は入館無料です★